



もぎたて通信

令和7年10月30日
長崎市立茂木小学校
発行 校長 松尾伸章

ホームページアドレス www.nagasaki-city.ed.jp/mogi-e/

「 桐一葉 日当たりながら 落ちにけり 」高浜虚子

日中の温かさと朝晩の肌寒さに秋の深まりが感じられるようになりました。空気が澄み、山の端がきりっと線を主張しています。2学期も後半、明後日から11月です。体調管理に気を付けながら、これまでの成果を確かめていこうと思います。

お見事6年生！

10月15日（水）、茂木小学校のリーダーの6年生は、長崎市小学校体育大会に出場しました。茂木小学校6年生が出場した球入れ競技及びプレルボール競技は県立総合体育館で、フラッグフットボールは橘小学校体育館で開催されました。

6年生は、9月に入ってから約1か月間半あまり、この小体会の日に向けて心を一つにして自分たちが出場する競技の練習をしてきました。6年生としてレベルアップできるよう本気で取り組んできました。後輩たちにも、たいへん立派な姿を見せてくれた6年生でした。十分にレベルアップできた取り組み方だったと確信しています。



【球入れ】20個中①19個②20個③19個を入れて優勝！

【プレルボール】1試合目40対18で勝利。2試合目も34対18で勝利し、優勝！

【フラッグフットボール】1試合目15対9で勝利。2試合目も13対9で勝利し、優勝！

うれしいことに結果もしっかりとついてきました。出場したすべての競技種目で「優勝！」という輝かしい成績を残すことができ、子供たちの自信へとつながりました。競技中、お互いのチームを応援し、勝利を喜び合うチームワークの良さも輝いていました。

この大会前から、茂木小学校の下級生、職員みんなが6年生を応援していました。そんな「チーム茂木小学校」もすばらしかったです。そして、6年生はその期待にしっかりと応えてくれました。茂木小学校のリーダー、6年生をますます誇らしく感じる小体会への取組でした。

もぎの木タイム



茂木小学校では、月に1回、朝の活動時間に「もぎの木タイム」があります。これは、根っこ（学びの土台）を育てる時間です。

10月28日（火）に、今年度5回目の「もぎの木タイム」が実施されました。今回のテーマは、「物の住所と整理整頓」でした。全校一斉にオンラインで、担当の先生のお話や動画等

を見ながら、ランドセルや靴などを置く場所の確認をしたり、自分の机の中の整理整頓の仕方などを確認したりしました。

身の回りのものが整っていると、気持ちよく学習に向かうことができ、集中できます。子供たちの学力アップのための第一歩です。さて、お家でもできているでしょうか？



11月行事予定

- 3日(日) <文化の日>
※茂木地区ふれあいまつり 11:45 4年合奏「鉄腕アトム」、1・2年ソーラン節
- 4日(火) 児童集会(小音会出場学級を励ます会)
- 5日(水) 3年社会科見学(警察署、消防署) 6年卒業アルバム個人写真撮影
- 6日(木) 委員会活動
- 10日(月) さわやかタイム 縦割り活動(6年生による読み聞かせ)
- 11日(火) もぎの木タイム
- 12日(水) 4年長崎市小学校音楽会(午後)
- 13日(木) 6年修学旅行(14日まで熊本方面) トムソーヤーズ読み聞かせ1・2年
※15日(土) トムソーヤーズ料理3・4年(ふれあいセンター)
- 16日(日) (家庭の日)
- 17日(月) チャレンジ検定(国語)
- 18日(火) もぎトーク
- 19日(水) 4・5・6年授業参観・学級懇談会 5・6年親子給食
第2回学校保健委員会講演会
- 20日(木) 代表委員会 トムソーヤーズ読み聞かせ1・2年
- 21日(金) 第2回チャレンジあはは運動(30日まで)
※22日(土) トムソーヤーズ料理5・6年(ふれあいセンター)
- 23日(日) <勤労感謝の日>
- 24日(月) <振替休日>
- 25日(火) チャレンジ検定(算数) 6年社会科見学(ふるさと発見事業)
- 26日(水) 1・2・3年授業参観・学級懇談会 1年親子ハミガキ 3年親子給食
- 27日(木) 2～4年ブラッシング指導 クラブ活動
- 28日(金) 5・6年ブラッシング指導 スクールカウンセラー来校日

11月12日(水)は、4年生が、ブリックホールで開かれる長崎市小学校音楽会に合奏で出場します。この日に向けて、4年生も9月から練習をよく頑張っています。11月3日(月)の茂木地区ふれあいまつりでもその成果を披露することになっています。

今度は、4年生が茂木小学校を代表して活躍する番です。全校みんなで応援しています。

若菜川を眺めて

もう一度大切にしたい「お天道様が見ている」の精神。

日本人は、宗教心が弱い方だと言われます。確かに他国に比べると、宗教心による争いごとはありません。親から子供に必然的に伝えられるほどの強制力也没有。多くの日本人は、自分の宗教に対しての自覚がなく、近親者の不幸の際に「あっ、私は〇〇派だったんだ。」と気付くぐらいです。

宗教心は道德心につながり、多くの国では信仰する宗教の教えが、そのまま道德心と言えます。では、日本は道德心が低いのか、ということそうではありません。むしろ、道德心に関しては、他国よりも高いのではとも感じます。宗教心の低い日本人が、道德心が高い秘密、それは「お天道様が見ている」精神があるからです。

すべてのものを見ている(見抜いている)象徴として「お天道様(太陽)」が用いられているので、この「お天道様」、本当は「自分の良心」ではないかと思います。「お天道様」という対象をおくことで、自分の良心と対峙し、自分の良心に問いかけているのです。

それはある種の「人目」なのかもしれません。人目を気にすることと、自分の良心の声に従うことは、実質的に同じだと思うのです。

親にやってはいけないと言われたことをやってしまうとき(そんなことは誰しもあるものですが)、心の疼き(うずき)を感じる子供であってほしいと願うばかりです。